

茨城県北地域振興の新たな可能性をさぐる —茨城県北ジオパークを目指して—



開催日：2009年2月1日（日） 午後1：00～5：00
場所：茨城県立歴史館 講堂

● 主旨

産・官・学・民の連携による茨城県北地域の振興の可能性の一つとして、県北地域にジオパークを立ち上げ、ユネスコの世界ジオパークネットワークへの登録をめざすための、キックオフシンポジウムです。県北振興に興味をお持ちの一般の方の参加をお待ちしています。なお、会場の制限から参加希望の方は事前にお申し込みください。

● プログラム

特別講演：C. W. ニコル「森から未来をみる」

講演：

1. 渡辺真人（産総研）：ジオパークとは何か？
2. 米田 徹（系魚川市長）：ジオパークによる地域振興の実践
3. 竹之内 耕（系魚川市立フォッサマグナミュージアム学芸員）
：系魚川ジオパークにおけるジオツアーの実践
4. 久保 雄（系魚川ジオパーク推進市民の会会長）
：地域住民がジオパークにもとめるもの
5. 松原典孝（茨城大学学生地域参画プロジェクト代表）
：ジオツアーに向けて茨城大学学生による実践例
6. 天野一男（茨城大学理学部教授）
：茨城県北・福島県南ジオパークの提案



特別講演：C. W. ニコル氏

どなた様も無料で
ご参加いただけます

● 参加申し込み方法：

定員＝100名（先着順）

申し込み方法＝住所・氏名・電話番号をご記入したものをFAX又はメールにてご送付下さい。

申し込み先＝FAX:029-228-8586

e-mail:chiren@mx.ibaraki.ac.jp

申し込み締め切り＝2009年1月29日（火）

30日(金)に締切を延長しました!

● 主催： 国立大学法人 茨城大学

● 共催： 茨城県、茨城新聞社

● 後援： 日立市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、常陸太田市、ひたちなか市、太子町、大洗町、
常陽地域研究センター、グリーンふるさと振興機構、日本地質学会、
国際惑星地球年日本（IYPE日本）

[ジオパークとは？]

地域の美しい地質や地形などの自然遺産をもち、考古学的・生態学的・文化的な価値のある地域を自然の中の公園として国際的に認定し、それらの遺産を保全すると同時に観光資源として活用して地域振興をめざすのがジオパーク事業です。ユネスコの支援する世界ジオパークネットワークが推進している事業で、現時点でヨーロッパと中国を中心に57地域が認定されています。なお、系魚川ジオパークは、世界ジオパークネットワークの候補地として推薦されることとなっています。本シンポジウムでは、先進的地域の実践例をお話いただく予定です。

● お問い合わせ

茨城大学

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

学術企画部研究協力・地域連携課 地域連携係

TEL:029-228-8585

FAX:029-228-8586

e-mail:chiren@mx.ibaraki.ac.jp

● 会場案内



※ 借楽園御成門より徒歩4分
※ 水戸駅からバスをご利用の場合：茨城交通バス・茨城オートバス（水戸駅北口4番のりば）「歴史館借楽園入口」下車、徒歩2分。
※ お車をご利用の場合：常磐自動車道水戸インターチェンジから約7km、車で15分（駐車場有）

